

万博という鏡：制度・都市・未来 ～大阪・関西万博EXPO2025記録（上）～

特許庁主催・弁理士会共催「明日を変える知財のチカラ」取材

万博とは

●万博の制度

（博覧会国際事務局（BIE）／登録博と認定博／ベオグラード博・セルビア2027／リヤド博・サウジアラビア2030）

●日本で行われた万博（1970～2025）

登録博 大阪万博（1970）／愛知万博（愛・地球博）（2005）／大阪・関西万博（2025）

認定博 沖縄海洋博（1975）／つくば万博（1985）

●愛知万博（愛・地球博）との比較

大阪開催の経緯

●大阪維新の会と日本維新の会の経緯

●大阪の都市発展 近代史100年

●大阪万博（1970）と大阪・関西万博（2025）比較

大阪・関西万博

●概要・費用・経済効果・開催後の経緯

●大阪万博の目玉「大屋根リング」

●特許庁主催・弁理士会共催による万博出展



芸術・科学・知財クリエイター・弁理士（雅号）

大樹 七海

目 次

はじめに

本記事の執筆目的

執筆の背景と理由

I. 万博の制度と日本の万博の経緯

1. 万博とは

(1) 万博の制度

【万博の決定ルール：BIEによる選定プロセス】

(2) 次回の万博開催地について

① 國際博覽会の分類 登録博と認定博

② ベオグラード博・セルビア（2027）とリヤド博・サウジアラビア（2030）について

【認定博 ベオグラード国際博覽会（EXPO 2027）概要一覧】

【登録博 リヤド国際博覽会（EXPO 2030）概要一覧】

2. 日本で行われた万博（1970～2025）

【日本で催された万博概要一覧（1970～2025）】

登録博 大阪万博（1970）/愛知万博（愛・地球博）（2005）/大阪・関西万博（2025）

認定博 沖縄海洋博（1975）/つくば万博（1985）

3. 愛知万博（愛・地球博）との比較

【2005年愛知万博と2025年大阪・関西万博の比較一覧】

II. 大阪開催の経緯

1. なぜ大阪に決まったのか：誘致の経緯と背景

【大阪維新の会と日本維新の会の経緯一覧】

2. 大阪の都市発展 近代史100年

【1925 - 2025年 大阪の都市発展における主な出来事の背景・課題一覧】

【1970年の大阪万博と2025年の大阪・関西万博の概要比較一覧】

III. 大阪・関西万博

1. 大阪・関西万博の概要

【2025大阪・関西万博の概要一覧】

2. 大阪・関西万博費用について

【万博費用の主な内訳一覧（概算）】

3. 大阪・関西万博の経済効果

【大阪・関西万博の経済効果に関する主な出典資料一覧】

4. 大阪・関西万博開催後の経緯

- (1) 開幕直後（4月～6月）
- (2) 転機（7月～8月）：夏休みと運営改善による反転
- (3) 会期終盤（9月～10月）：盛り上がり最高潮
- (4) 閉幕後（10月20日現在）

5. 大阪万博の目玉「大屋根リング」

【大屋根リングの概要一覧】

6. 特許庁主催・弁理士会共催による万博出展

【特許庁主催・弁理士会共催の万博展示概要一覧】

6-1. 展示内容の構成

6-2. 特許庁の万博イベント

- (1) 「実感」エリア

【特許庁 実感エリア出展企業・団体一覧（14件）】

- (2) 「体験」エリアと特許庁職員によるガイドツアー

【特許庁 体験エリア出展企業・団体一覧（5件）】

- (3) ステージプログラム

【特許庁 ステージプログラム一覧】

6-3. 日本弁理士会の万博イベント

- (1) 技術体験コンテンツ

- (2) お楽しみコンテンツ

- (3) ビジネス／技術アイデアコンテスト

【出展企業・団体と展示内容一覧】

以下、次号予定

7. 海外パビリオンについて

【地域別分類別 パビリオン展示一覧】

8. シグネチャーパビリオンについて

【シグネチャーパビリオン一覧表】

9. 日本国内パビリオン（政府・民間）について

【日本のパビリオン一覧表】

個人的な体験

今後について

むすびにかえて

はじめに

2025年4月13日（日）から10月13日（月・祝）までの184日間にわたり開催された「2025年大阪・関西万博」は、盛況のうちに無事閉幕しました。

来場者数は、会期終了時点で累計29,017,924人、このうち、一般来場者は25,578,986人であり、開幕前に想定されていた2,820万人の約9割に達しました。

一方、知的財産に関する取り組みは、万博閉幕間際に特に注目すべき動きがありました。

特許庁主催・日本弁理士会共催による展示企画「明日を変える知財のチカラ～想いを届ける、世界をよくする～」が10月2日（木）から10月10日（金）までの9日間、万博会場内「EXPOメッセ（WASSE）」にて開催されました。

本記事では、小職が10月9日に行った同展示の取材に基づき内容を紹介とともに、万博全体の総括を試みます。執筆にあたっては、以下の点を意識し、読みやすく工夫しました。なお、執筆時点で閉幕から1週間経過しています（10月20日）。

本記事の執筆目的

本稿では、以下の視点を軸に、2025年大阪・関西万博の総括を試みます：

- 「万博とは何か？」
万博の基本を理解すること
- 「大阪・関西万博の位置づけとは？」
大阪の近代史100年を通して、都市開発の過去と未来について考えること
- 実際に訪れることができなかつた方々にも、“行った気分” “わかった気分” を届けること
- 参加・不参加を問わず、万博という国家的イベントを通じて知識と話題を共有し、楽しむこと
- 万博がどのように始まり、どのように終わったのかを記録として残すこと
- 50年後にこの記事を読んだ人が、「この時代に何が起きたのか」を理解できるようにすること

執筆の背景と理由



出典：万博閉幕後の公式サイト　冒頭話題を呼んだ、大屋根リングから見る夕暮れの絶景が背景に。



出典：万博閉幕後の公式サイト　ミヤクミヤクからのご挨拶　万博の象徴である、公式キャラクターと大屋根リング

大阪・関西万博は、従来の万博とは大きく異なる体験設計がなされました。事前予約が前提となり、人気パビリオンは数分で予約枠が埋まり、予約不要のパビリオンも1～7時間待ちや入場制限、閉館時間繰り上げが起き、さらに、屋外環境にて、風雨や酷暑といった厳しい気象条件が